

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2020. 4. 1 6.

NO. 55 (臨時号)

全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

全国の仲間のみなさんへ

全国の仲間の皆さん、新型コロナウイルスの影響で学校が長期に渡って臨時休業となる中、これまで以上に働く保護者を持つ子どもたちとその家族の生活を日夜支えていることにあらためて敬意を表すると共にエールを送ります。

先日、私が勤める学童保育所に通い、新1年生の弟・妹と一緒に朝から学童保育に来ている兄、姉たちからたくさん愚痴を聞きました。

本来なら学校が始まっている、それぞれの時間を過ごした後に学童保育で再会する兄弟姉妹たちが、「24時間一緒にいるんだよ。いつでもくっついてくるし、疲れてくるとめそめそするし、大変なんだよ!」「そうそう、家でも同じで自分だけの時間がないよね。」「私はお父さん、お母さんより妹の面倒みてるよ。」「同じ!同じ!」・・・と共

感の輪が広がっていました。

新1年生はもろろんのこと、すべての子どもたちが様々な制限と不安と負担の中で毎日を送っています。

その心を受け止めつつ、「いつまでこの状態が続くのか?」と不安に駆られる自分と闘いながら働き続ける指導員の何と大変なことか・・・。

今回のことで学童保育が持つ社会的役割と責任の重さを感じると同時に、そのことを果たすための制度・施策が不十分すぎることを痛感しています。

皆さんの現場での奮闘を無駄にすることなく、今後の制度確立、施策改善の運動の糧にしていきたいと思います。

まだまだ先の見えない闘いではありますが、お体に十分気を付けて、共にがんばりましょう!

全国学童保育部会部会長

立嶋 峰文

わたしたちは ONE TEAM

わたしたちの仕事は必要とされている

コロナ対応お疲れ様です。所沢は、4月15日から「臨時休所」となります。しかし、完全に閉所になることはありません。

日々刻々と変化する中、対応を間違えてはならないプレッシャーがあります。運営団体からコロナが出たら仕事がなくなるのではないかと不安もあります。

各支部の皆さん、私たちの仕事は必要とされています。休息をとりながら、コロナが解消したら、みんな笑顔で会えることを楽しみにしています。

所沢学童保育支部 執行委員長
松崎史織

各地の学童保育の状況、お互いのエール交換を掲載していきます。今回は、その第1弾です。

各支部の委員長からメッセージをお寄せください。



所沢支部の仲間たち：写真は、2016年